

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	総合演習1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期 火曜日	教室名	1校舎401.501
担 当 教 員	松良尚子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次の学習内容の基礎部分の総復習に相当する科目となる。この科目では、単なる復習ではなく読解力、問題抽出・解決力、論理的思考力を活用することが目的となる。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験、口頭試問、実技試験、課題の総合評価とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
課題や試験内容は、いずれも他の科目で既に習った範囲となる。各課題がどの科目の反復内容になるのかを考えること。						
《授業外における学習方法》						
1年生で学んできた科目の復習・応用力を問う科目となる。学んできた事を覚えるだけでなく、理解して、論理的思考のもと、活用して臨めるように対策を行うこと						
《履修に当たっての留意点》						
それぞれの課題や試験の主旨をつかみ、適切な解答を考えること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	資料から要点を抽出し、要約を作ることが出来るようになる	配布資料		
		各コマにおける授業予定	要点の抽出演習、要約事例			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	資料から要点を抽出し、プレゼンテーション資料を作成できるようになる	配布資料	要約事例を参考に、教科書等から要点を抽出する練習を行う	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション事例解説			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションを用いて、要点を説明できるようになる(1)	配布資料	プレゼンテーション事例を参考に、PPTスライドを作成し、発表文章を考える	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション発表			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーションを用いて、要点を説明できるようになる(2)	配布資料	プレゼンテーション事例を参考に、PPTスライドを作成し、発表文章を考える	
		各コマにおける授業予定	プレゼンテーション発表			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	文章や数字を使った作業遂行が出来るようになる	配布資料	検査や疾患について例を挙げ、短い説明文を作成してみる	
		各コマにおける授業予定	SPIによる「速さ」と「正確さ」の能力を知る			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	検査や疾患について論理的に説明できるようになる	配布資料	検査や疾患について例を挙げ、短い説明文を作成してみる
		各コマにおける授業予定	口頭試問1		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	資料から読解力を用いてまとめを作成できるようになる	配布資料	検査や疾患について例を挙げ、短い説明文を作成してみる
		各コマにおける授業予定	資料からまとめを作成する技術を身に付ける		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	機器の使用方法や留意点を説明できるようになる	配布資料	代表的な検査機器の使用法を確認し、データを得るまでの過程をシミュレーションする
		各コマにおける授業予定	検査機器を用いた実技試験に向けての解説		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	機器を正しく使用できるようになる	配布資料	代表的な検査機器の使用法を確認し、データを得るまでの過程をシミュレーションする
		各コマにおける授業予定	検査機器を用いた実技試験1		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	機器を正しく使用できるようになる	配布資料	代表的な検査機器の使用法を確認し、データを得るまでの過程をシミュレーションする
		各コマにおける授業予定	検査機器を用いた実技試験2		
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			